

24. 地域福祉に関すること、また、それ以外でのご意見等ご自由にご記入ください

毛布などを捨てに行きたいができない (60歳代)

町内在住の成人者(20歳)以上に町の高齢化の現状、町の財源などの勉強など社協が主となり若者の福祉活動のメンバーをそだてて月に数日(土、日曜)にそれぞれの地域に入ってもらい高齢者などの手だすけ、ボランティアに協力してそういう活動を町として協力してもいいのではないかと協力してくれる若者はゼロではないと思う。(60歳代)

- ・小児クリニックが近くにない
- ・夜間救急で子供が受診する際の最寄りが渋川等遠方で不安が大きい。
- ・学童に預ける時、年単位の利用のみでなく、夏休み等の長期休暇等のみの利用態勢も必要だと思う。(30歳代)

支援が必要な人に過不足なく届けばいいと思う。でも、情報不足で支援が受けられないのは悲しいので、病院や介護施設、接点のある人が、社協さん等に「(〇〇さんが困っているように見受けられるので)確認して欲しい」とお願いしやすい環境作りをして頂きたい。

第三者が言うと失礼な感じがして言いづらい。今のところ近所にそういう方はいないが、以前知り合いで認知症気味の方がいて、自動車を運転していて危険なので、お身内の方から家族に連絡してもらったが、家族は全然気づいていなかった。その後病院で確認していただいて治療していた。(40歳代)

住民が増えていかないかぎり、地域福祉は考えられない。(30歳代)

私は、今年3月で契約切り!57歳の男です。21歳の頃、事故を起こし右半身があまりうまく動きません。このままだと、働くことが出来ません。町からの支援をお願いします。(50歳代)

身近に切実な人を知らないので自分に関わる問題として認識できていないと思う(50歳代)

みんなで助け合いが必要だ（60歳代）

人口減少している中で高齢者の意見だけでなく、若い方や新たに引っ越してきてくれた方の意見を積極的に聞いた方がいいと思います。昔からのやり方では今は通用しないと思います。（40歳代）

近所の鉄工所が昼夜休日を問わずに仕事をするので非常に迷惑している（50歳代）

町民、社協を知らない人が多い。説明が必要（60歳代）

自助・互助・共助が大切ということは理解しているが、それぞれの家庭や個人が抱えている問題や悩みは単純なものから複雑なものまでであることや、コロナ禍でなるべく他人との接触を控えるようにという命題で二律背反の状態をどのように対応したらいいかが問われている時代ではないでしょうか。地域における民間活動の中核であり、住民参加による福祉活動を推進する専門的団体としての役割を担う、社協の職員の皆さんの今後の活躍を期待しています。（50歳代）

- ・パソコンにて自宅入力仕事が出来れば、運転免許証なくても外出不可能の方、高齢者の方、障害のある方でも仕事出来るのでは？
- ・高齢者でも出来るパソコンやスマートフォンの使い方教室開いては？
- ・地域のボランティア活動参加したくてもバス利用しかなく遠く不便。巡回バス等あればいいのに・・・
- ・単身住居者には生活するのは大変です（高齢者の場合）（60歳代）

ボランティアで子育てに悩んでいる人たちの助けになってやりたいと思っています。母子家庭で生活に困っている人たちに食料などをあげたらどうでしょうか。子ども食堂をやりたいです。今はコロナで出来ないでしょうからコロナが終息してからだと思います（60歳代）

現在の国・県のコロナ対策では、何年経っても終息できません。みなかみ町にも行政検査と別に社会的検査の出来るPCRセンターを作ってください。感染者は少ないと思いますが、病院の体制強化と隔離施設づくりが必要です。ワクチンは何年かかるかわかりません。とりわけ病院や介護施設などのスタッフや患者にはすぐPCR検査を！（60歳代）

藤原地区はすべて行政上のことが切られている。道路の除雪は夕方にどんなに積もってもそのまま。県道で4、50センチあってもそのままなので、夜中に具合が悪くなくても救急車も来ることができない。いつも大雪の時は不安。婦人科健診はここには来ない。選挙や健康診断などは久保地区一カ所だけで、車のない高齢者はいくことが出来ない。そういう細かい生活の上で大切なことを良くしないで、ボランティアとかなんとかアンケートをとるのはおかしいと思う。(60歳代)

社会福祉協議会の目的は何ですか？そこで働いている方々は”共に生きる豊かな地域社会”を心に置いて働いているのですか？(60歳代)

子供から大人の交流場が無くなっている。誰も気にしないで参加できる場所(自由)(60歳代)

毎月の区費やらの集金が高い。周りに聞いてもここまでたかいところはない。なぜ毎月集めるのか・・・使い道がなぞ。(40歳代)

若者や子供が減少し将来が不安(60歳代)

地域福祉がみなかみ町でどのように行われているのかわかりにくい(40歳代)

高齢一人暮らしの年齢条件？(75歳?)、高齢一人暮らしと二人暮らしを分ける理由?、高齢者とは65歳以上?(60歳代)

高齢な方も増えている中、若者が頑張らなくては、と思う一方仕事や家庭で忙しい状況です。困っている人がすぐに相談できる場、困り感を出しやすい場(相談しあえるような)があると、生活困窮者に手も差し伸べやすく、過ごしやすい町になると思います。お忙しい中大変だとは思いますが、よろしく願いいたします。(30歳代)

・社会福祉活動を推進させていくためには「財源」と「人材」が必要となります。そのためには、まず、役場がまとめ役となり、町議会議員とともに、みなかみ町を活性化させる、以前のようにまでとはいわないまでも「みなかみ町を復活させることが重要」だと思います。すべてはそこから始まると思います。人口減少・高齢化を止めないといけません。

・みなかみ町の最大の優位性・魅力は自然豊かな環境に恵まれているところです。一年中温泉を楽しめ、冬はスキー・スノーボード、夏は利根川やダム湖などでの水遊びやキャンプ、秋は素晴らしい紅葉、春はハイキングなど一年を通して楽しむことができます。

・こうした素晴らしい環境のみなかみ町をもっと外に向かってアピールすべきだと思います。そうすれば自然と人は集まり（人材確保につながり）地域は活性化し、仕事も増え、税収も上がっていきます。

・社会福祉・老人福祉を充実させるためには、まず「子育て支援」を先に優先して行うべきです。子育てがしやすい、町が援助してくれるとなれば、若い子育て世代の人が喜んで移り住んでくれるようになります。人は増え、税収も増え町は活性化します。

・みなかみは草津や伊香保より魅力の多い環境にあります。みなかみ町の魅力を最大限に活かし、人が集まり地域が活性化するよう、社会福祉協議会の方々には役場と町議の人たちと大いに議論を交わして頂きたいと思います。皆さん頑張ってください。協力できるようになったら私も協力します。

(50歳代)

このようなアンケートの実施、とても良いことだと思いました。日常気がつかないこと、このことにより改めて考える機会になりました。また冬の雪かき、除雪機が通るときに、やや広いわが家の庭の雪かきもして欲しいと思うことがありました。有料で良いのでお願いしたいほどです。何か良い方法をお願いしたいです。(50歳代)

若い人が定住しやすい町を望みます。人とのつながり、関わりを考えています。(60歳代)

困っている方がいれば助けたいと思うが、どういうことを手伝って欲しいのか、いつ・どこで・どういったことをを知る掲示板のようなものがあれば時間があるときに積極的に参加したいと思う。また、子どもが急な熱で体調を崩し、ファミサポや行政的な手助けはしてもらえないのかと役場をお願いしたことはあるが、沼田市にある病院の紹介だけだった。（問い合わせしたがみなかみ町在住は利用できないとのことで時間の無駄だった）地域的に祖父母と同居が多いと思うのでファミサポのサービス充実は難しいと思うが、本当に困った時に頼れる場所を知っていることが出来れば安心して子育てにのぞめると思う。（40歳代）

まだこちらに戻って間もないので、これからいろいろなことに馴染んでいきたい（30歳代）

超高齢化社会と言われて久しい。地域での支えを必要とする人たちに対して支え手は少子化・定年の廃止などに見られるように極めて少ない。このような変化や社会の現状を考えるに以下のことが考えられると思う。

- ・ 高齢者を若い世代が支えるという従来の考え方ではなく、出来る範囲で無理の無い手法で高齢者が高齢者を支えるという考え方
- ・ 学校教育を終えて家庭を持つまでの間の世代。町内には少ないと言われながらも青年層はいる。この青年層を地域の担い手としていくために社会教育の充実・強化は必要と考える
- ・ 上記の青年層につながる子どもたちの育成も重要。特に小学校高学年以降の年代には地域の現場体験は大切であると思う。学校と地域の連携を行政等の各種機関でプランニングする必要があると考える

（60歳代）

地域で何かしらの活動を行っているが、福祉という言葉はイコール介護とかをイメージしてしまう。介護は子どもが考えることと割り切ってしまうことでそれ以上考える気になれない。私たちは地域で全体で楽しく活動できることを、自由参加で日々行っていくことが、お互いの顔合わせとなりその人の健康状態を知り地域の人々の何らかの助けにつながると思います。楽しくないと続かないのでやっても意味がないと思う。(60歳代)

みなかみ町の人口を増やすことが一番です。現在はご近所で子どもさんの声が聞こえなくなり、村に活気がない(60歳代)

フルタイムの共働き家庭も多くいると思います。そうした人たちへの支援や環境整備も必要であると考えます。(30歳代)

・こども園や小中学生たちとデイのお年寄りたちとのふれあいを多くする。地域のお祭り(太鼓・太々神楽)の継承。太々神楽を学校で教えるのは宗教的に無理があるのでしょうか?ソーラン節教えるなら、群馬なら八木節なのではないか?コロナがこのまま続けば、まんの太鼓も太々神楽も地域の伝統行事の引き継ぎが出来ずに無くなってしまう

・妊娠を望む方はいますが、妊活治療にいけない方がほとんどです。産みたいのに作りに行けないほど治療費が高い!なぜ全面的に町で出してくれないのか?作るのにお金を使い果たして育てる金が消えて、作りに行くことをやめる。そもそも作りに行くお金を用意できず子どもをあきらめる。作らないじゃ無く作りに行けないという現実気づいて欲しい!

(30歳代)

今まで気にしておらず何をしているかも知らない。お金をもらっているのならそれなりの対応が必要。報告書を拝見したい。活動記録を見たことがない。(60歳代)

今、世間ではSDGsが話題になっているが、社協ではどのような取り組みをしているんですか？ほっこり茶屋？でしたっけ、参加されている人は何名くらいいるんですか？気になっているので顔を出してみたいと思っているのですが、まだいったことがありません。

(40歳代)

藤原は雪の多い地区であって車がないとどこにも行くことが出来ない。運転が出来なくなったときに病院や買い物に行くことが出来なくなってしまいとても困ります (60歳代)

福祉とは「しあわせ」を意味することだと思います。誰でも幸せになりたいと思っているはずですが、ただ社会は個人1人ひとりがその幸せの度合いが違います。それが個性であり1人ひとりにあった幸せをサポートすることが大切であり、地域福祉は共通の幸せに向かってできることから始めることが大事だと考えます。幸せは楽しいことが多いはずですが、地域で楽しい行事などを企画計画したらどうかと思います。「社協佐藤さん頑張ってください」 (60歳代)

・子どもを小学校に通わせていて、朝登校時ボランティア（見守り隊）の活動には大変感謝をしていて安心して子どもを送り出せます。ただ新治地区は帰りに大人がいないので少し不安です。また、子どもも少ないため週のほとんどが1人で帰ってくるような状態も課題です。

・知人（町内在住）で引きこもりがいます（20代）。特に町のサポートがなく、動き出せない状態です。命（心）を守るためにもどうか、良い活動が生まれませんか？今後に期待します。

(30歳代)

・高齢化社会になり、運転免許の返納で運転できなくて毎日の買い物や通院することが大変になっている人が増えてくると思います。週1回か2回、ショッピングカーで食用品や日用品を地区ごとに回ってくれと助かると思います。

- ・タクシー券などを配布して、病院や買い物などに行きやすくするなど・・・乗り合いタクシーでも良いと思います。
- ・介護施設などに行く前の予防で集まれる施設があれば良いと思います

(50歳代)

ボランティアでゴミ拾い、講演会など参加してみたいと思うのですが、日々時間に追われなかなか参加できていないことが心苦しい時があります。今年は特に実家の手伝いに行かなければならないので時間はないと思いますが、落ち着いたら少しでも参加していきたいと思っております。(50歳代)

障害者の就労支援、働ける施設の充実化に力を入れていただきたい(40歳代)

残念ながら地域の活動は民間活力が中心で、公的な機関では限界がある。農業にしても小規模な企業も後継者が不在、この原因は要は食べていけない、生活ができないことにある。町民1人1人が生活できる、家庭が築ける環境が欲しい。そうなれば地域作りの方向が見えてくる気がする。(60歳代)

親の年金で生活されている引きこもりの中高年の方が町ではどのくらい存在しているのでしょうか？親が老いて逝った先の生活は自立して生活していけるのでしょうか？生活保護を受ければと考える方が多いかとは思いますが、それだけでは済まないもっと根深い問題がたくさん見え隠れしていると思うのですが。中高年の引きこもり問題が深刻にならないうちに早く手を打ってください。また方策等お考えがあるのなら是非お聞かせください。(60歳代)

自分はすぐ60歳になるが70歳まで働きたい。元気な高齢者を1人でも多く町の努力で作って欲しい。年金生活で余裕ができれば地域活動もしたい。(50歳代)

バス路線以外の特に山間部は高齢の方が多く食品等は移動販売などを利用できますが日用品等は不便だという声を聞きます。買って来て欲しいのか買い物に出たいのかは分かりませんが、マイクロバス・小型自動車等予約運行など不便な地域に対応できるものがあると良いと思います。(50歳代)

昔から地域での助け合いは行われてきたと思う。当然無償の範囲ではありますが、地域の助け合いは行われています。高齢者や児童・母子福祉など制度が充実してきた反面、財政的問題から地域福祉に名を借りた地域への押しつけに思えてしまいます。本アンケートにあります助け合いの内容については行政が財源の確保も含め制度として確立すべきものと考えます。(60歳代)

- ・他の町と比べてゴミ袋の値段が高すぎる
 - ・中山間地に住んでいる人は交通の便の悪さを感じる
 - ・お店が一軒もない
- (60歳代)

山間部に住んでいるので車の運転ができなくなったとき(頃)には住んでいられない。子どもの健診、みなかみ保健センターまで行くのはマジで遠いし一日がかり。バス無料等にすれば運転できない人等も助かる。Minakamihartをバスで使えるようにして年配の人に配れば良いと思う。税金の使い方のバランスが昔のままで、今の現状に合わせた配分にして欲しい(40歳代)

親の介護のことで相談したときは、とても親身に相談にのってくださりとても感謝しています(50歳代)

みなかみ町は子どもが少なく、子どもが増えるように子ども手当の増額など、何か考えた方が良くと思います。
木の根の信号のところ、この一年くらいで3回事故がありました。沼田から来る車がカーブ曲がりきれずに…。子どもが学校に行くときに歩いて信号待ちしている姿を見ます。事故が多い場所なので何か考えていただきたい（60歳代）

福祉に関することではないのですが、近所の猫が家の敷地内で糞をして困っています（50歳代）

・一般の法人である社協がなぜ私の住所・氏名を知っているのか。アンケートというのならば、多くの住民の住所・氏名を把握しているということ。どこで情報を得たのか不可解である。個人情報入手方法、説明して欲しい。今回のアンケート発送該当者すべてに文書にて説明を乞う。

・社協は行政機関ではない。一般の法人と考える。税に頼り（補助金に頼り）事業を行うのは、他の法人との公平性に欠ける。自立できぬ事業は普通の法人ならばしないはず。

（50歳代）

・福祉に関心はあるが共働きで仕事と子育てに忙しく時間と心にゆとりがない

・シングルマザーの知人から、昨年大雪の際は幼い子と自分だけの生活が不安いっぱいだったと聞いた。幼い子だけを室内に残し、外で除雪作業するのもストーブ等での子どもの事故がこわいし、外に連れ出しても長時間はられない。また移住してきたため近所とのつながりも薄い。高齢者・障害者の支援も大切だけれど、シングルマザー・シングルファーザーの家庭の子どもに対してではなく、たった1人の大黒柱である父・母に対する支援はもっと必要であると感じています。それは金銭ばかりでなく、自分1人でも子どもを育てていけると感じられる環境や、サービスの充実（有料・無料問わず）でもあるとも思っています。大人がもう1人必要だと感じたときに、町内のどこかに連絡すれば解決するような支援の形があったら良いと思います。（40歳代）

近所（村）との関わりはありますが、地域の関わりがほとんどなく、よく知りませんので回答が難しかったです。あまり参考にして欲しくありません。（50歳代）

困っている人に気づいていないかも・・・とは思いますが。また日中は仕事のため見守りやボランティアがやりづらいのですが、できることはやりたいと考えています。（40歳代）

災害時の避難誘導など明確にわかりやすい情報がほしい、高齢者が多いので。雪が降ったとき除雪を早めにして欲しい。（40歳代）

若い人たちとの同居は減る一方であり、単身世帯が増えるばかりで将来が不安である。現在91歳の義理の両親の介護中であるが自分が90歳前後になったときの毎日の生活において、ゴミ出し、庭の草取り、植木の剪定、冬の雪かき等心配事だらけである。子どもたちは県外に出ており迷惑はかけたくない。地域福祉を充実させ、子どもを頼らずに生活してゆけたらと思います。（60歳代）

若者移住者が気軽にみなかみに移住できるよう、低コストで住める賃貸、または共同住宅を作りコミュニティーを広げるサポートをして欲しいと思いました（20歳代）

自分が悩んでいることに関して本当に真剣に考えてくれる人が本当におりますか？相談をして本当に親身になっていただけますか？所詮は他人事だと思われるのではないですか。（60歳代）

今回のアンケートの件が無かったら、みなかみ町社会福祉協議会のことを知ることがなかったので、今後ボランティア等をする上で設問21のところを充実し、きちんとした知識を学べる機会があれば良いなと思いました。（30歳代）

地域・集落で生きる（生活）とは自然かつ必然的に設問7～21が関わる。相互扶助、1人では生きてはいけないのであるから。（60歳代）

町の福祉のために力を尽くしておられる皆さんに感謝しております。ボランティアといっても与える側と受け取る側の気持ちをお互いに理解して活動するとき成果となっているのかと思います。有名な格言に「人からして欲しいと思うことはすべて、人にもしなければなりません」というものがあります。皆がこういった気持ちで取り組めることを願っています。（50歳代）

- ・老人ばかりで新しい若い家族も増えていない気がする
- ・雪の（大雪）など冬の環境に年々大変さを感じ、できたら新しい雪のないところへ住みたいが、除雪など助け合って協力できたら少しは良いのかしらと・・・。
- ・年寄りが安心して住める町づくりを
(50歳代)

今後ますます高齢化が進み10年後には高齢者の一人暮らしの人たちが多くなると思います。子どもはいても都会で仕事をしていて、親の面倒を見られない人が増えています。テレビ等報道で高齢者の孤独死がよく聞かれるように不安でいっぱいです。医療費等も高くなり、生活が大変になると思います。民生委員の仕事等も大変になり民生委員のなり手がなくなるのではないのでしょうか？冬の除雪作業ですが一人暮らしの高齢者は旧水上町の人たちは冬期間は暮らせなくなるのでは。家は老朽化し屋根の雪下ろしはできず道路までの除雪はできず、買い物も行けずどうしたら良いのでしょうか？近所づきあいが大切ですね。12月にはボランティア除雪隊が出動できるようにしてもらいたい。(60歳代)

社協には義父・義母ともに大変お世話になりありがとうございました。先日回覧であいのりタクシーのチラシが入っていましたが情報が少なくいまいよく分かりませんでした。それと、買い物に行くのに2000円支払いするのでは自分たちが老後になってそれが重い負担になると思います。地区ごとに曜日設定して人数確保し割安で買い物に行けるようになると良いと思います。近くの方も免許返納したので生協に加入して買い物に行かなくても良いようにしたと話を聞きました。(60歳代)

引っ越してきたばかりで子どもの行事など何があるかよく分からない(40歳代)

地域の子どもたちと高齢者の方たちがふれあう場や機会があると良いなと思います。（昔の遊びをすとか）乗り合いタクシーのようなサービスがあると車の運転に不安があるお年寄りにとって助けになるのでは？（40歳代）

困っている人の声を聞いて困っていることがなくなるようにする。小さな町だからできる。「一律にこうしましょう、ああしましょう」というのではなく「ばあそなる」なことができるのではないかな？他人から見て困っていきそうだと思うことも、本人には困っていることではないかもしれませんね、みんな一緒ではない。そのうち年寄りは減るでしょう。今の方だけじゃないかな、長生きできているのは…。自分は後10年くらいと思っています。チクロだの赤いウィンナーで育ちましたものね。お仕事お疲れ様です。お役に立ちませんで…。（60歳代）

- ・小学生になる子どもがいるが、近所づきあいがないので他に子どもがいるのか分からない。
 - ・通学するときに不安がある
 - ・子育て世代なので子どもに関する情報がもっと欲しい
- （30歳代）

・近隣にアパートがあり、そこに外国の方が入居している。その人たちがゴミの出し方が分からないのか、資源ゴミを指定の場所ではなく、燃えるゴミを置くところに出している。外国の方が転居してきたら、ゴミ出しルールの紙の配布だけでなく、直接会って話をした方が良いのではないかな。

・地域福祉のことではないが、町の人口、子どもがどんどん減少している。空き家バンクをアピールしたり、無料で土地を提供したり（安くしたり）、他にもどんどん移住してもらうために何かしていかないと将来が心配です。

（40歳代）

社会福祉協議会の皆様はとても大変なお仕事で、とても頑張ってくださいていることはとても感謝しております。私の母も長い年月お世話になり本当にありがたく助かりました。ありがとうございました。この先もずっと社会福祉協議会の発展と職員の皆様の健康をお祈りいたします。（60歳代）

若い世代が流出してしまっているので地域のこれからが心配（新治 60歳代）

別の地域に両親がいて、社会福祉協議会のケアマネさんと接する機会があるが、対応がお役所的というか、あまり親身さを感じられない。よっぽど民間のケアマネさんの方が親身で活動してくださる。社協も税金（私たちの）で働いているのに残念。所詮税金で食べている人は、そんなものなのかと思いがっかりしている。（40歳代）

- ・夏休みのラジオ体操を育成会主催ではなく地域で実施し、幅広い年齢層で参加できるようにして欲しい。健康増進と、地域の人との関わりや交流につながって行くと思う。
- ・学童の利用料金（保育料）を月額固定だけではなく、日割り計算で料金を出してもらえたり、週会員（週3日以内の利用で月額〇〇円）など選択できるようにして欲しい。
- ・キッズタクシーを利用できるようにして欲しい（30歳代）

若者の意見としては、今後少子高齢化社会の影響で税金や年金などに影響が出るのはとても困る。高齢者の援助はせざるを得ない時などに備えていた方が良くと思うが、ボランティアではなく報酬を出した方が参加者は増えていくと思う。（20歳代）

みなかみ町地方公務員（一般行政職員）の平均年収が群馬県内2位、全国市区町村181位で656万円でもらいすぎなのでは？仕事に見合っていない給与をもらっていませんか？役場に用事があって行くと、若手職員の方は対応をしてくれますが、ベテランの人は業務内容を理解しておらず「わかりません」といいます。一般企業ならクビです。まずは身内の改革をやらなければならないのでは？（30歳代）

世界遺産の町とはいえ、田舎なので高齢者にとっては不便さが先に来ます。交通の悪さ、お店も近くにはなくなっていきます。結局不便さのあまり高齢者でも運転するしかありません。危険を伴っても仕方の無いことですね。行政で案を考えてください。（60歳代）

提出の期日を過ぎてしまい大変申し訳ありません。確認よろしく申し上げます。（20歳代）